

※ 個人情報保護の観点から、掲載写真の一部見づらい点がございます。ご容赦ください。

# R5基礎研修会③ 「環境づくり」

主催：教育研究部

扱い：小学部 伊藤



# 00. 用語の定義

## 「基礎的環境整備」

- 障害のある子どもに対する支援について、法令に基づき又は財政措置等により、例えば、国は全国規模で、都道府県は各都道府県内で、市町村は各市町村内で、それぞれ行う教育環境の整備のこと。

\* 国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育推進センターより 引用



# 00. 用語の定義

## 「構造化」

- 何かの活動を行う前に、その活動を行いやすくするために環境を整えることです。主に自閉症スペクトラムの子どもやその家族の支援を目的として米国で開発された、生涯支援プログラム「TEACCHプログラム」で用いられている手法です。

① 物理的構造化（環境の構造化）	その場が何をやる場か明確にする
② 時間の構造化（スケジュール）	次に何をやるのかを分かりやすく伝える
③ 活動の構造化（アクティビティシステム）	何を、どのくらい、どのように行えばよいかを分かりやすくする



# 00. 用語の定義

## 「環境づくり」

- 授業づくりを行う上で、児童生徒が主体的に活動するための支援環境を整備する四つの視点。
- 大きく、「物理的支援環境」と「人的支援環境」に大別される。

### 【環境づくりの四つの視点】

(富山大学人間発達科学部附属特別支援学校(2012)を参照して一部変更)

支援環境	物理的	<p>① 教材・教具, 支援ツールの効果的な配置</p> <ul style="list-style-type: none"><li>a 動線の整理</li><li>b 配置位置, 間隔</li></ul> <p>② 児童生徒の発達段階や障害特性に合った支援ツールの活用</p> <ul style="list-style-type: none"><li>a 理解を助ける</li><li>b 動きを引き出す</li><li>c 活動の終わりの明示</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 注目しやすい提示方法の工夫 ・ 必要な物のみ提示</li><li>・ 動線に合わせて配置 ・ 視線の動きに合わせて配置</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 場所, 回数, 時間の視覚化 ・ ICTの有効活用</li><li>・ 見るだけでなく触る, 匂うなど五感の活用</li><li>・ 操作しやすく, 分かりやすい支援ツールの活用</li></ul>
	人的	<p>③ 教師の役割</p> <ul style="list-style-type: none"><li>a MTとSTの役割, 連携</li><li>b 立ち位置, 動線</li><li>c 効果的な支援の仕方</li></ul> <p>④ 児童生徒の役割</p> <ul style="list-style-type: none"><li>a 活動のモデル</li><li>b 係の役割</li><li>c 動線, 位置</li><li>d ペア・グループ活動</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 定点や視点, 終点に立つ</li><li>・ 子ども同士をつなぐ</li><li>・ ねらいに迫る問い掛け</li><li>・ 児童生徒の意欲や達成感につながる評価のタイミング</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 友達を意識できる席配置</li><li>・ 「できる」を生かした係活動</li><li>・ 友達と協力して担う係活動</li><li>・ リーダーを中心に遂行する活動</li><li>・ 児童生徒間での相互評価</li></ul>



# 01. 本研修の目的

- 授業づくりの視点「環境づくり」について理解を深める。
- 他学級の実践を通して学び、自身の指導・支援の幅を広げる。



# 02. 物理的支援環境整備について

① 教材、教具、支援ツールの効果的な配置

A 動線の整理

どこに置くか

B 配置位置、間隔



## ① 教材、教具、支援ツールの効果的な配置



- 動線を考慮した  
「荷物かご」の配置
- “どこに” “何を” を示す  
イラストカードの設置

小学部  
単一学級



## ① 教材、教具、支援ツールの効果的な配置



- 動線を考慮した「荷物かご」の配置
- “どこに” “何を” を示すイラストカードの設置

小学部  
単一学級



# ① 教材、教具、支援ツールの効果的な配置



- 物の配置を固定
- 名前や名称カードの設置
- “整然と” 配置されている

高等部

職業コース



## ① 教材、教具、支援ツールの効果的な配置



- 物の配置を固定
- 名前や名称カードの設置
- “整然と” 配置されている

高等部  
職業コース



# ① 教材、教具、支援ツールの効果的な配置



○ 前方は刺激を少なく

高等部

職業コース



## ① 教材、教具、支援ツールの効果的な配置



- 足形で“並ぶ位置”を示す
- 番号で“順番”を示す
- 児童の実態に合わせて足置き台を設置

小学部  
単一学級



# 02. 物理的支援環境整備について

② 児童生徒の発達段階や障害特性に合った支援ツールの活用

A 理解を助ける

B 動きを引き出す

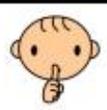
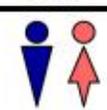
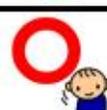
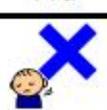
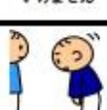
C 活動の終わりの明示

何をどのように  
用いるか



## ② 児童生徒の発達段階や障害特性に合った支援ツールの活用



 かわぐちせんせい	 ごうだせんせい		
			
 てあらい	 すわります	 きがえ	 きゅうけい
 しずかに	 わかりません	 やめて	 イライラ
 トイレ	 きゅうじやく	 べんきょう	 いいよ
 おわり	 えほん	 としよこーなー	 いけません
 ばずる	 おちやをのお	 アイパッド	 おねがいます

- “発語のない児童” へのコミュニケーションボード
- ドロップトークの活用

中学部  
単一学級



## ② 児童生徒の発達段階や障害特性に合った支援ツールの活用



- 児童に合わせた「カード」の活用（写真・イラスト）
- 用途に合わせたカードの使い方（教室に掲示？手持ち？）

小学部  
単一学級



## ② 児童生徒の発達段階や障害特性に合った支援ツールの活用

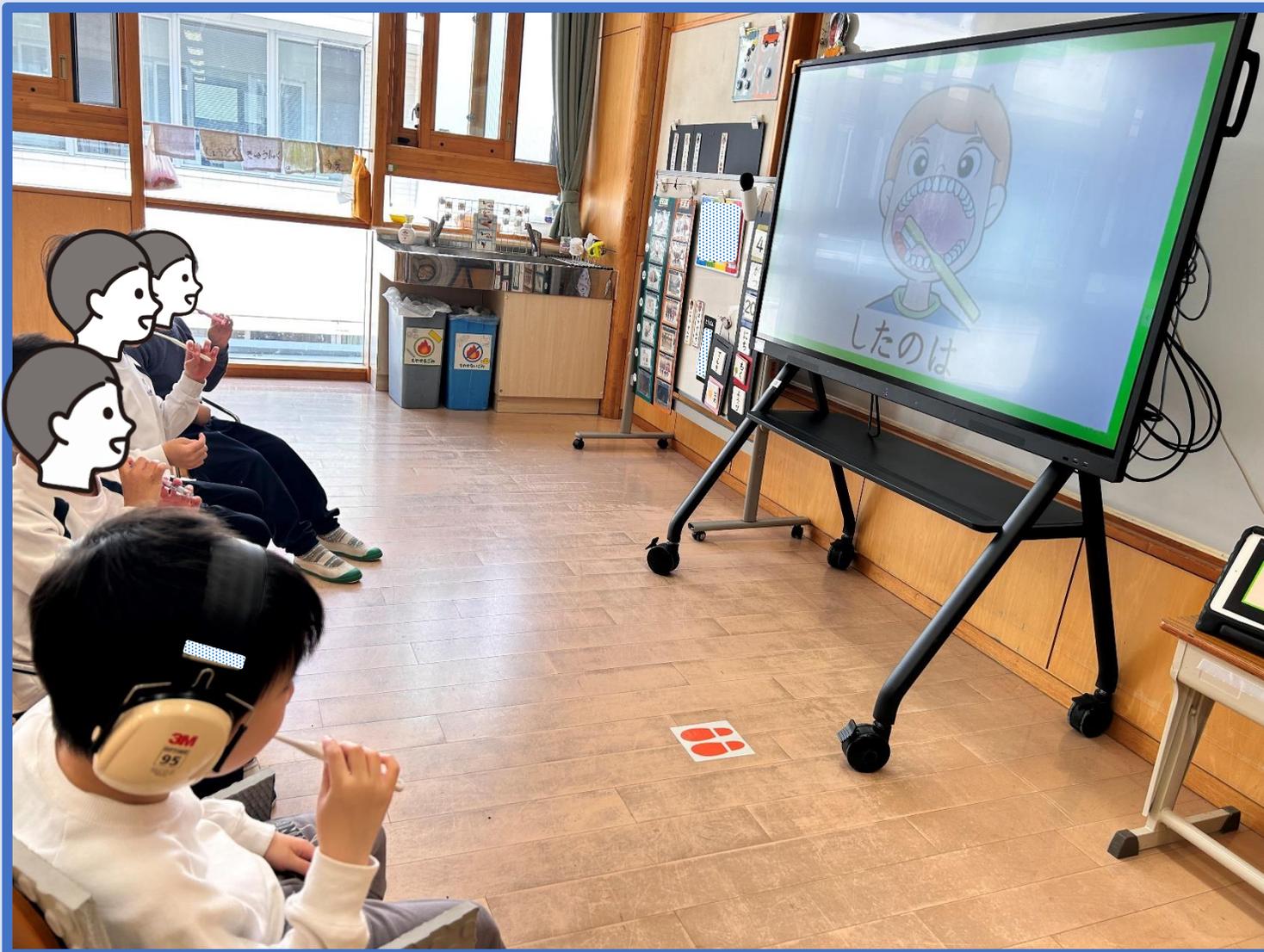


- 児童に合わせた「カード」の活用（写真・イラスト）
- 用途に合わせたカードの使い方（教室に掲示？手持ち？）

小学部  
単一学級



## ② 児童生徒の発達段階や障害特性に合った支援ツールの活用

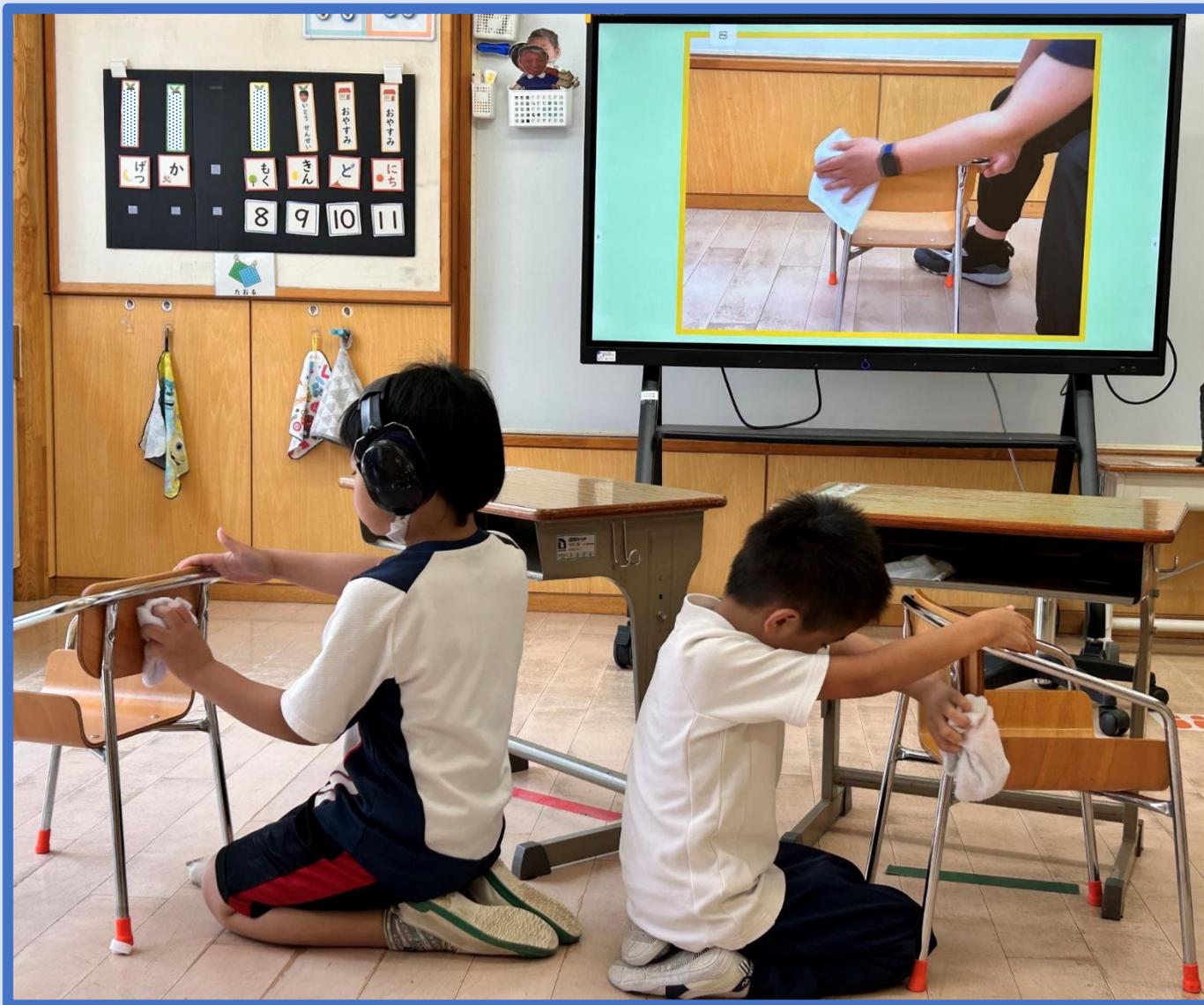


- 活動の“手順”をタブレット端末や映像を用いて提示する
- 自分で“やり方”を確認できる

小学部  
単一学級



## ② 児童生徒の発達段階や障害特性に合った支援ツールの活用

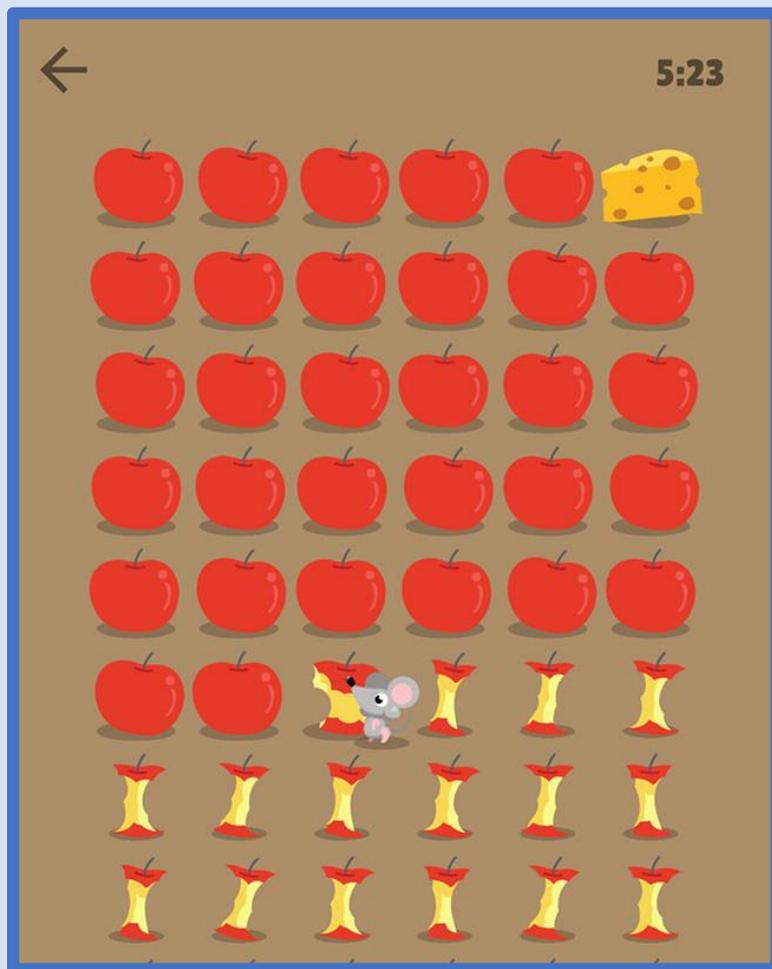


- 活動の“手順”をタブレット端末や映像を用いて提示する
- 自分で“やり方”を確認できる

小学部  
単一学級



## ② 児童生徒の発達段階や障害特性に合った支援ツールの活用



○ 活動の“終わり”が見ても聞いても分かる

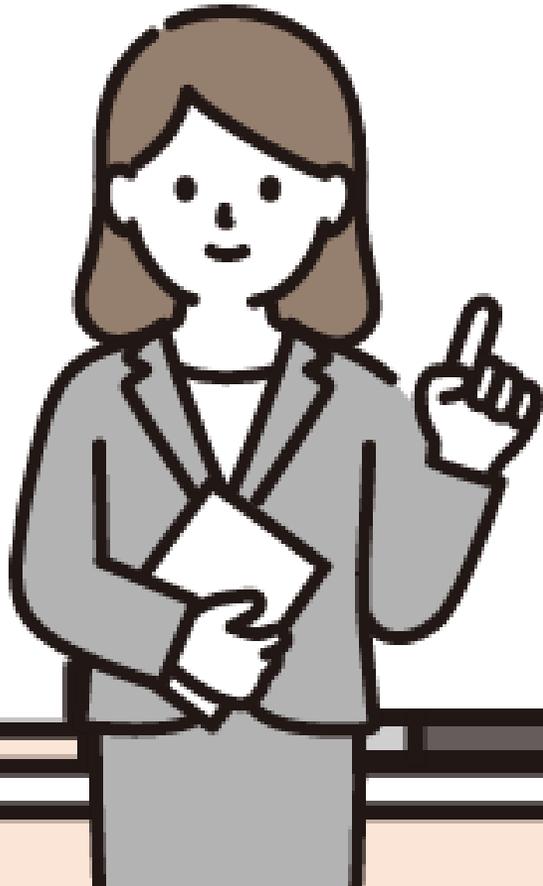
↑ : (株) ドリームブロッサム  
→ : (C)LITALICO

全学部



# 03. 人的支援環境整備について

## ③ 教師の役割



A MTとSTの役割、連携

B 立ち位置、動線

C 効果的な支援の仕方



### ③ 教師の役割



- MTとSTの役割分担
- MTに注目できる環境

小学部  
単一学級



### ③ 教師の役割



- 児童生徒の始点と終点に立つ
- 児童生徒が“自分で”行動するための配置の付き方

小学部  
単一学級



### ③ 教師の役割



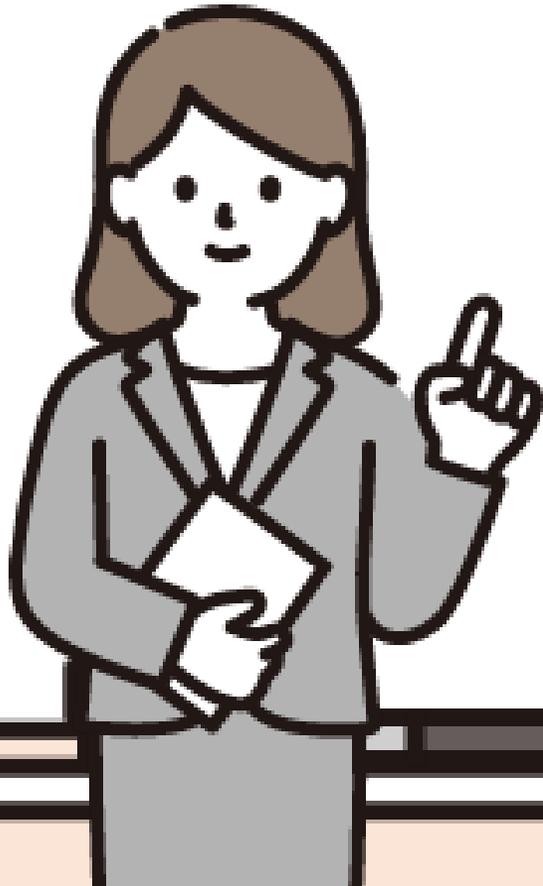
- 関節を支持し、前腕や手指の動きを“引き出す”
- 児童生徒の動きを“待つ”

小学部  
重複学級



# 03. 人的支援環境整備について

## ④ 児童生徒の役割



A 活動のモデル

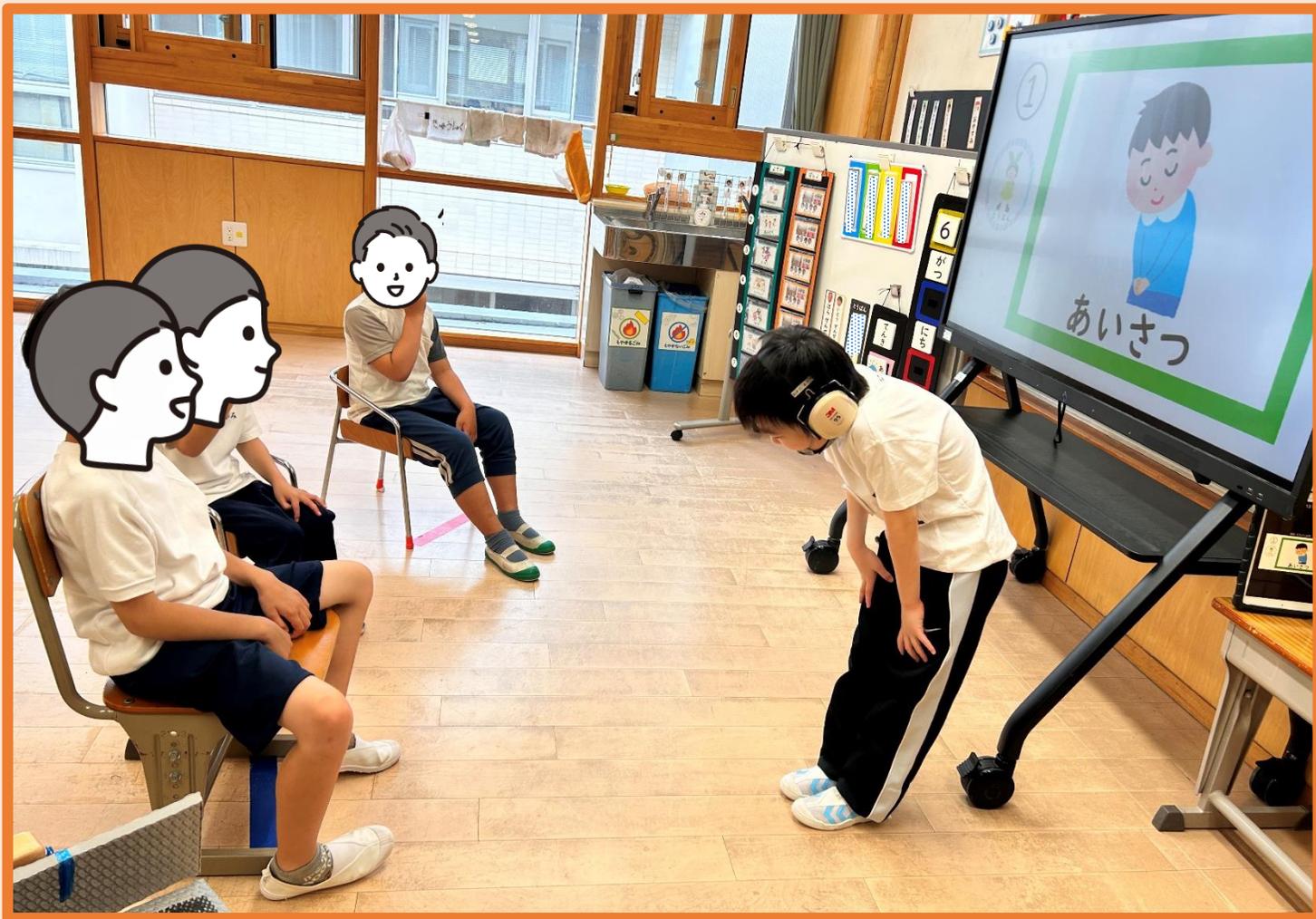
B 係の役割

C 位置、動線

D ペア・グループ活動



## ④ 児童生徒の役割



○ 前に出て活動のモデルを示す

小学部  
単一学級



## ④ 児童生徒の役割



- “司会”として朝の会の進行を行う
- 児童同士で“物の受け渡し”などのやりとりをする

小学部  
単一学級



#### ④ 児童生徒の役割

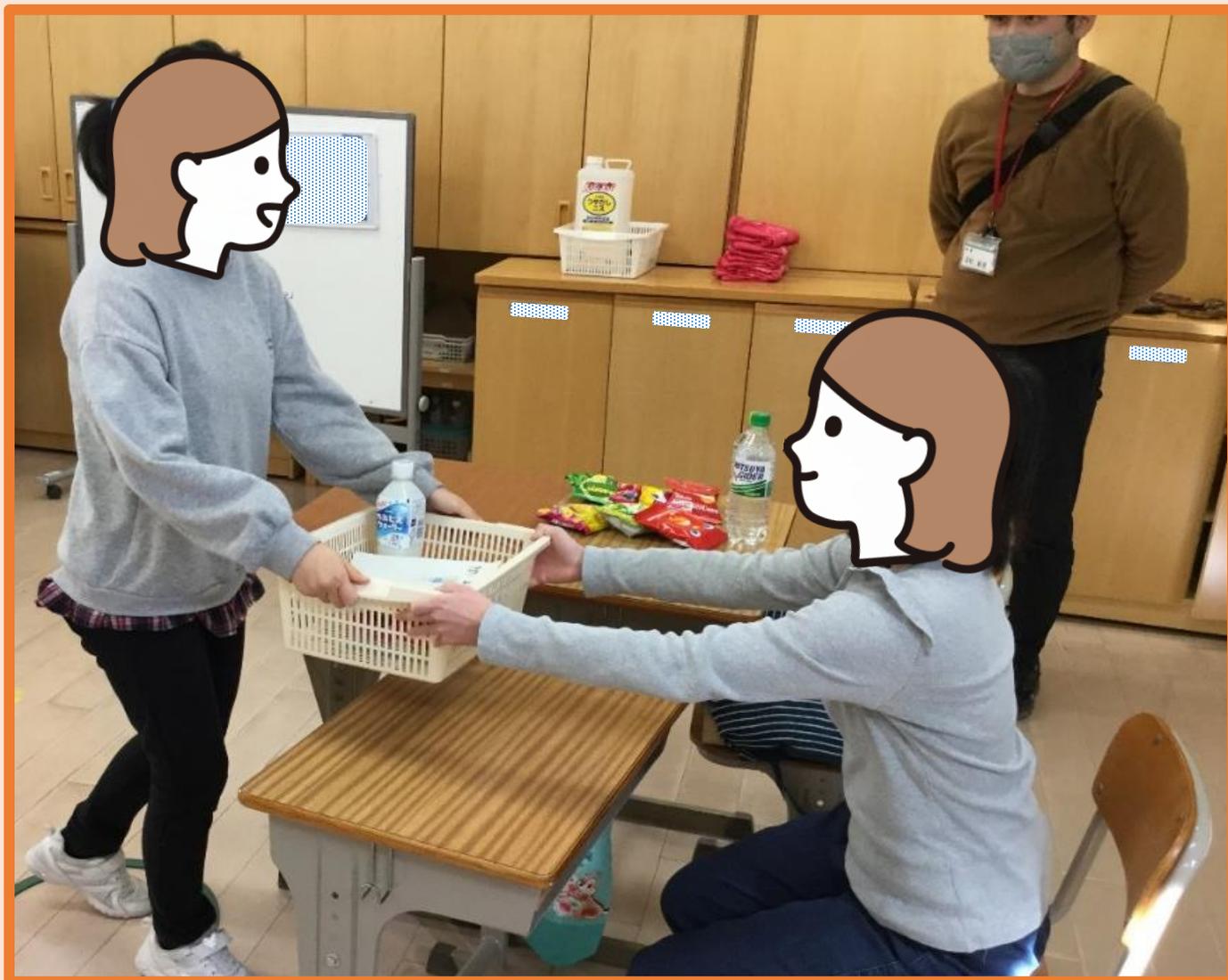


- ふれあい遊びを通して友達との適切なかかわり方を身に付ける
- 児童生徒同士が対面でやりとりをする

小学部  
単一学級



#### ④ 児童生徒の役割



- ふれあい遊びを通して適切なかわり方や間隔を身に付ける
- 児童生徒同士が対面でやりとりをする

中学部  
単一学級



## ④ 児童生徒の役割



- 児童生徒の実態を考慮したペアでの活動場面を設定する

小学部  
単一学級



# 04. まとめ

「人的・物的環境整備」を元に、  
御自身の学級・指導・支援を振り返ってみましょう。  
「よし、やろう！」と児童生徒が感じられるような環境づくりを！

